

ソワニエ看護専門学校 広報誌 Vol.17 2016.December

ソワニエ通信

soigner Nursing College

〈編集・発行〉
ソワニエ看護専門学校
〒703-8265
岡山市中区倉田394-3
電話(086)274-6455
ホームページ:
http://www.soigner-nc.jp
E-mail:info@soigner-nc.jp
〈発行責任者〉安岡満利子



22th grader Capping & candle service



後半は7期生から戴帽生自らの考えと総意で作り上げた「誓いの言葉」と合唱につながる。22期生の誓いの言葉は3つに要約された。「信念は力なり」「知識は力なり」「友は力なり」にうなずき、未来にはばたく力強い歌声に拍手する。

さあ、病院で、診療所で、介護施設で、在宅で看護実習が始まる。患者さんから学び、能動的に自主的に学び、患者さんを全人的にとらえる看護を学ぼう。人間の命の尊厳を何よりも大切に、患者の人権を守る豊かな人間性を持った看護師に成長しよう。

11月5日にソワニエ看護専門学校22期生の戴帽式が行われた。

日本の戴帽式は大正5年(1916年)に聖路加病院高等看護学校で初めて行われたと言われている。最近では医療の現場でナースキャップを着けることがなくなり、戴帽の儀式をしない看護学校も増えてきた。数年前に当校でも戴帽式の在り方について議論したが、学生の強い希望で従来通りの実施が決まった。

戴帽の儀は前半と後半に分かれる(私見であるが)。前半は一人一人の看護学生へのキャッピング(戴帽)と学生が持つキャンドルの灯りが舞台上にやわらかい暖かい光として拡がっていく神秘的で幻想的なシーン。思わず見とれてしまう。学生の緊張の中にも凛とした姿が美しい。ナースキャップは今なお看護の象徴であり、キャンドルの灯りは「看護の心」とされている。さすが日本で100年の伝統を持つ儀式である。

後半は7期生から戴帽生自らの考えと総意で作り上げた「誓いの言葉」と合唱につながる。22期生の誓いの言葉は3つに要約された。「信念は力なり」「知識は力なり」「友は力なり」にうなずき、未来にはばたく力強い歌声に拍手する。

さあ、病院で、診療所で、介護施設で、在宅で看護実習が始まる。患者さんから学び、能動的に自主的に学び、患者さんを全人的にとらえる看護を学ぼう。人間の命の尊厳を何よりも大切に、患者の人権を守る豊かな人間性を持った看護師に成長しよう。

看護の精神を受け継いでいく

学校長 吉崎振起



SNC祭

学びの和を繋げよう!!

SNC祭実行委員長 2年生 安積耕拓

今年のテーマは「いい輪を繋ごうソワニエ幕府」看護の学びと大切な何かを求めてです。看護学を学ぶ中で看護の知識、技術だけでなく「仲間との絆」「チームワーク」「思いやり」といった大切な学びがあること。また、学生・教員やお世話になった皆様方、地域の方々との出会いを通して「大切な学びの輪」を繋げていくことを今年のテーマにしました。

SNC祭1日目は「小さき声のカノン」という映画を鑑賞し、監督の鎌仲ひとみさんに原案について講演をしていただきました。学生・教員一同、原案という大きな社会問題に対し、学びを深めることができたのではないのでしょうか。2日目は県連の方や学生、教員が様々な模擬店を出店し、各教室ではレクリエーションや足浴などの看護体験を実施し、盛り上がりを見せました。今年のSNC祭も多方面の方々から協力を得まして無事開催することができました。本当にありがとうございました。

新任教員紹介

今年度8月より、ソワニエ看護専門学校に入職いたしました木嶋茂子と申します。

臨床での経験のみで教育に携わるのは今回、初めてとなります。看護教育に関しては、いちらからなりますが先生方のご指導をいただきながら一杯、頑張りたいと思っています。どうぞ、よろしくお願い致します。

木嶋茂子

学生募集のお願い

ソワニエ看護専門学校では現在、学生募集要項を配布中です。みなさんのご家族やお知り合いの方をぜひご紹介ください。入学試験の詳しい日程は下記のとおりです。

2017年度入学試験概要

試験区分	願書受付期間	試験日	合格発表
一般二次入試	2016年 12月12日(月)~ 2017年 1月10日(火)【必着】	1月14日(土)	1月17日(火)
一般三次入試	2017年 2月6日(月)~ 2月21日(火)【必着】	2月25日(土)	2月28日(火)

1. 学 科……看護学科 3年課程
2. 募集定員…40名 男女共学
3. 入学試験日程

資料請求・お問い合わせ (公財)林精神医学研究所 ソワニエ看護専門学校 ☎086-274-6455 担当:角南(すなみ)・石原

社会人の方が対象の、専門実践教育訓練給付制度もぜひご活用ください。受給資格の有無については、お近くのハローワークにご確認ください。

22th grader Capping & candle service



22期生 誓いの言葉

私たち22期生はここに誓います。信念を持ち、笑顔と思いやりを大切に、患者さんに寄り添える看護師を目指します。

正しい知識と技術を謙虚に学び、誠実で責任感のある看護師を目指します。

信頼できる仲間と共に協力し、互いに高め合い夢に向かって前進します。そして、見守って下さる全ての人々に感謝します。

信念は力なり。知識は力なり。友は力なり。

22期生 戴帽式

11月5日、第22期生の戴帽式を家族、在校生、来賓の皆さまや教職員が見守る中、挙行しました。約1ヶ月前から少しずつ準備を進めてきた22期生、当日は少し緊張している様子もありましたが、合奏をはじめ、クラスで決めた誓いの言葉を全員で声を揃えて、参加いただいたみなさんに伝えました。2年生、3年生は自分たちの戴帽式を思い出し、初心にかえり、看護師への思いを新たにしました。



祝賀会



戴帽式の後には、祝賀会が行われました。直前まで実習だった2年生と3年生が準備をすすめてくれました。

戴帽式に出席いただいたご家族の方々と一緒に祝いました。

1年生からダンスの余興もあり、驚かされましたが、みんな笑顔で楽しい祝賀会となりました。



1年生 22期生



1年担当教員 松本美絵、正渡靖士

9月13日から3日間、基礎I実習に行きました。基礎I実習は看護学校に入学して初めて病院で行う実習です。学生は患者さんの療養環境を知るために環境測定を行ったり、看護師が行う看護の実際を知るために看護師の後ろをついて見学を行いました。

実習を振り返る中で「看護師さんの動きが早くてついていけなかった」「看護師さんのやさしい声かけをみて私もそうなりたかった」といった思いが生まれ、日常生活援助を行う際の準備の重要性、患者さんに援助を行う際の説明と同意の必要性、環境整備を行う中で患者さん中心の看護ということを学ぶ事が出来ました。

基礎I実習を通して一人一人こんな看護師になりたいというイメージを作りあげていきました。戴帽式ではそのクラスの思いを一つにしたこのクラスだけの誓いの言葉を看護師になる決意をすることができ、11月28日から始まる基礎II実習に向かっています。



2年生 21期生



2年生 恒本結梨

私は老年看護学実習1で養護老人ホーム岡山市会場の里で3週間学ばせていただきました。養護老人ホームでの利用者さんの入所理由や施設の様子を知ることができました。そして医療現場とは違った「生活の場」であること、施設での看護師の役割をしっかりと学びました。また会場の里は様々な理由で社会生活を送ることが困難な方の「最後の砦」であり、利用者さんにとって会場の里は自分の「家」であることを知りました。

利用者さんとのコミュニケーションを大切にすることで利用者さんの生きてきた歴史を知り、関わるのが大切だということも学ぶことができました。またレクリエーションを行うことで利用者さんの気分転換やリハビリにもつながったと思います。老年看護学I実習を終え、コミュニケーションの大切さ、疾病だけでなくその人自身を見つめ、生きてきた歴史を踏まえて関わっていくことを忘れず今後の実習にも活かしていきたいと思えます。



3年生 20期生



3年生 檜山和花

私たち3年生は、2年生の2月から始まった領域別各論実習、総合実習を11月に無事に終えることができました。実習が始まったころは、様々な実習場所に行くことや今まで経験したことのない領域に対して少し不安があり、7ヶ月という期間も長く感じていましたが、今思えば早かったように感じます。医療現場で実習をさせていただいたことは教科書では学べなかった実際の看護を知ることができ、たくさん学びや気づきがありました。そして実習を終えた今、自分自身や皆が実習を通して随分成長し、大きな存在になったように感じています。

これから残り3ヶ月間は、卒業論文の発表や看護師国家試験に向けての勉強が待っています。国家試験の難易度は年々高くなっていますが、そのプレッシャーに打ち勝つよう日々勉強し、わからないことがあればクラスの皆と共に助け合い、先生に質問するなどして、国家試験合格100%を目指して頑張ります。

